

これからの日本と自分を創る仕事

地方自治体

関係機関

海外

留学



■ 仕事の内容

夕張市の再生を将来の日本に繋げる

夕張市の破綻当時、私は、総務省職員として破綻の原因の一つとされた不適正な財務会計処理を検証する仕事に従事していました。現在、その夕張市において、夕張の再生に向けた政策の企画・調整、まちに配置される公営住宅や公共施設などの市有施設の移転集約や都市構造の転換などまちの再編に関係する業務に携わっています。

人口規模に見合ったコンパクトなまちへの再編には大規模なヒトとモノの移動が伴います。また、その実施に当たっては、必要な財源と事業を進める人間を確保しなければなりません。いずれも財政再生団体の夕張市において高いハードルですが、これまで総務省と地方勤務で得た知識・経験を活かしてまちの再生を進めています。

人口減少、少子高齢化対策は自治体共通の課題であり、これらの対策を含めた夕張市の取組みは多くの自治体のモデルになり得るものです。夕張の再生を地方の元気の創出、日本の未来に繋げていきたいと思えます。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

制度と人を創る職場

地方自治制度を所管する総務省で働くためには、制度を運用する自治体の実情を理解することが不可欠です。また、自治体が抱える課題を共有しそれを自治体目線で捉え、自治体と共に課題解決に取り組めなければなりません。

総務省では地方勤務を通して自治体の実態を体感しながら自治体経営を学びます。その際、自治体の現場目線を養うだけでなく、総務省で得た知識・経験を活かすヨソ者の目線も持ちながら多角的な視点から課題解決の糸口を探ることが求められます。

総務省職員にとって、これらの経験は制度を「運用」する側の視点も持ち、制度を「創る」ことの強みに繋がっていると思います。また、総務省は地方自治制度に関する豊富な経験と知識、そして高い志を併せ持った同僚と共に仕事に従事し、自らの人間力を培うスキルアップの場としても魅力的な職場でもあります。

知識と経験に裏付けされた人材が「制度」と「人」を創る。それが総務省です。

■ PROFILE

Manabu Kudo

平成11年10月	自治省行政局選挙部管理課
平成13年1月	総務省自治行政局選挙部管理課
平成13年9月	石川県総務部地方課
平成15年4月	総務省消防庁消防課
平成17年4月	地方公務員災害補償基金訟務課訟務第一係長
平成19年4月	自治行政局行政課行政第三係長
平成22年4月	自治行政局行政課行政第二係長
平成23年4月	自治行政局行政課行政第一係長
平成25年4月	現職

■ PRIVATE TIME

休日は仕事を忘れ完全オフ。ドライブやランニングなど外出を心がけています。

赴任地ならではの食材や自然の魅力などを自ら発見していくことは地方勤務の楽しみの一つです。最近のマイブームは、夕張の炭鉱遺構を巡る市内散歩です。

今年は、更に足を延ばして道内一周旅行や初マラソンにも挑戦したいと思っています。



とある

一週間

■ MONDAY

週初めの定例の幹部会議に出席。重要政策について説明し幹部間で課題等を共有。

■ TUESDAY

市議会に対し、夕張市保有の石炭採掘権などの資源の活用方針を報告。

■ WEDNESDAY

資源を活用した新規事業の立ち上げや地域公共交通政策について関係者と意見交換。

■ THURSDAY

コンパクトシティの実現に向けた取組みを経済団体の視察団に説明。

■ FRIDAY

夕方から市長と共に市政の取組みを紹介する市民懇談会に出席し意見交換。